THE KENSETSU TSUSHIN SHIMBUN
建設通信新聞
Architectures, Constructions & Engineerings News (Daily)
2012年（平成24年）2月21日（火曜日）　（第三種郵便物認可）

平成23年度 1級建築士 設計製図試験　合格者の半数以上は当学院の受講生！
当学院教室開講都道府県 合格者占有率 No.1
当学院教室開講都道府県合格者4,369名のうち、当学院合格者数2,259名
当学院教室開講都道府県 合格者占有率 51.7%
総合資格学院
すべては「合格」のために
www.shikaku.co.jp

顧客管理で〝元請化〟推進

建築設備工事を手掛ける馬渕工業所（本社・仙台市、小野寿光代表）は、〝連携〟と〝協業〟をキーワードに、固定観念に縛られず、独自の受注体制を構築してきた。その後も農作物の遠隔監視システムなど、果敢に独自技術の開発に取り組んでおり、現在は、独立電源の太陽光パネルと風力発電といった自然エネルギーを組み合わせた通信・保安灯の開発・販売という新たな分野に挑んでいる。

馬渕工業所　代表取締役　小野（おの）　寿光（としみつ）氏

小野社長は1984年に入社し、営業、現場などを経験後、取締役を経て96年に社長に就任、独自の経営方針を打ち出したのは代表取締役1人体制になってからだ。

同社は、業界でもいち早くCADを導入、図面の管理や手直しなどが容易になった一方で、顧客情報を〝書類の山〟から探し出すことにストレスを感じていた。一方で、公共事業費削減などで受注環境が厳しくなりつつある中、「われわれの仕事は、なくなりはしない。ただ請負金額の価格決定権がないのが嫌だった。顧客とダイレクトに結びつき、元請化を図ろう」との思いがあった。

風力と太陽光のハイブリッド化
低価格電力提供

その実現に向けて、「顧客情報をきっちりと持っている必要がある」と、顧客情報のデータベース化に思い至り、グループ企業『HI－SO』（ハイソ）を設立、建物の履歴情報管理システムの「e家カルテ」と「eビルカルテ」を開発し、顧客管理に注力した。このシステムは10年に国土交通省住宅局の「登録住宅履歴情報蓄積システム」に登録されている。

◇　◇

こうした取り組みによって、分離発注が多い官工事以外に、民間工事でも次第に元請化が進み、特に設備のボリュームが大きいリフォーム分野で効果を上げた。現在、管理している顧客情報は3千数百件に上る。

元請化に伴い、顧客のニーズに迅速に対応するため、コンクリート防水や屋根瓦、畳など一部の専門工事を除いて極力内製化を進めた。〝協業〟をキーワードに、協力企業とフレキシブルな協力体制を築いている。

本業とともに、現在力を入れているのが、風力と太陽光という自然エネルギーを組み合わせた「ハイブリッド発電」に、通信・照明など多様な機能を付加した「ハイブリッド・スマートデバイス」だ。

かねてからエネルギーの補充や周囲への電気工事が不要な〝自立電源〟に強い関心を寄せていた小野社長は、産学連携事業により気象計測機能を備えた農作物の遠隔監視システムを開発、宮城県農業試験場に設置し、研究者に高く評価された。

◇　◇

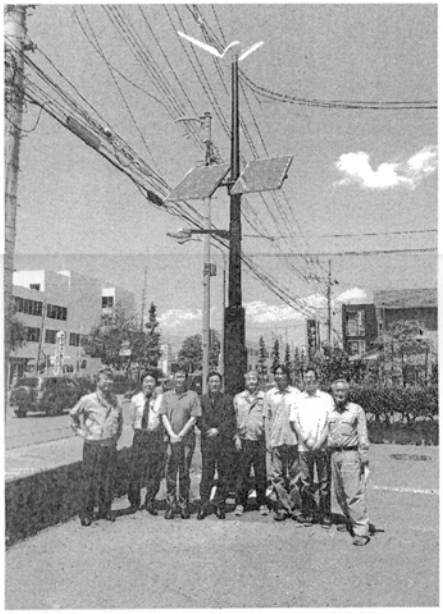
「ハイブリッド・スマートデバイス」は、こうした技術と連携の蓄積を糧に生まれた国際協調製品だ。当初は国内でプロトタイプ（試作機）を製作する予定だったが、コストがかかり過ぎ製品化できない状況だったため、国策として自然エネルギーの導入に積極的な韓国の「G&ST社」と「ARCA」の3社で共同開発し、コストの低い韓国で生産することで実用化にこぎつけた。

同デバイスには専用コントローラーと高性能蓄電池を内蔵し、自立電源としての風力発電機と太陽光パネルを搭載、これに公衆無線LANとLED（発光ダイオード）照明、監視カメラを併設しており、集会施設や公園、学校、避難所などに設置すれば、低いランニングコストで安全・安心を提供し続ける。

〝ハイブリッド〟とは「直流と交流が一つの電池の中にきちんと充電されること」であり、さまざまな機能が組み込まれた専用コントローラーは「頭脳の塊」と胸を張る。震災の影響で発売の遅れた国内の導入例はまだ少ないが、韓国では既に200基以上設置されているという。現在、宮城県内の被災自治体と調整が進んでいる。

今後については「地元の企業として被災地の復興のために持てる技術と素材をどんどん投入していきたい。産学連携で検証しながら良いものを提供していきたい」と展望する。特に、わが国で遅れている太陽光発電の普及に力を入れていく考えだ。

被災地復興へ技術と素材を投入



名取駅市役所前に設置されたハイブリッドスマートデバイス

会社概要

▷設立＝1966年5月
▷本社所在地＝仙台市太白区郡山4－10－2
▷電話番号＝022－247－0181
▷ファクス＝022－249－7253
▷事業内容＝建築設備の設計施工―給排水・給湯・ガス・消火・冷暖房・換気・浄化槽・水処理、持続可能な循環型設備の企画・設計・施工、新エネルギー活用推進企画・設計・施工
▷URL＝http://mabuchi-engineering.com